

## 第1回 大阪フォーリン・ビジネス・ネットワーク・クラブ 会議要旨

1 日 時 平成20年6月30日(月) 午前10時から午前12時

2 場 所 大阪市公館 (大阪市都島区網島町10-35)

3 出席者 関西の外資企業のトップ、在阪の海外領事館・商工会議所のメンバー  
東京ビジネス・リーダーズ・フォーラムに参加いただいた方 等 30人  
大阪市計画調整局長

### 4 開催結果

(1) 挨拶 (大阪市計画調整局長 北村 英和)

(2) 講演1 大阪市の都市環境とポテンシャルについて

(大阪市計画調整局 都市プロモーション担当課長 田中 利光)

講演2 ユビキタスシティ“大阪”の状況と今後の展望について

(大阪市立大学 学術情報総合センター 教授 中野 秀男)

(3) 質疑応答

主な質疑・意見

- ・ 関西なり大阪地域における外資系企業の具体的な状況について、どのような分野に多く参入しているのか、また活動状況に関するデータはどうか。
- ・ 流れとしてアジア・中国からの外国投資がこの地域に増えていると思う。
- ・ 六本木ヒルズ等には外資系企業が入り、滞在型アパートも用意され、かなり国際的な場所になっていると思うが、北ヤードの開発は大阪市の国際化に対してどのような貢献があると期待されているか。

説明・応答

- ・ この5年間で、大阪の企業と海外との関係が増している。分類として、親会社が海外の企業でもっとも多いのは、卸売業・小売業で、全体で約55%となっている。子会社が海外の企業でもっとも多いのは、製造業で、全体の40%となっている。
- ・ 大阪とアジアとの関係は切っても切れない関係が長年続いてきた。アジアとは地理的、文化的つながりを中心にしながら、より強固な関係を築いていきたい。関西では、アジアからの留学生が増えている事実があり、学術の分野での取り組みをこれからも強めていきたい。大阪駅北地区開発の関係で、経済界を中心にして「アジア太平洋研究所」の開設に向けた取り組みも行っている。このようなアジアとの結びつきも強くしていきたいと思っている。

- 大阪市では、北ヤードはナレッジキャピタルを1つのキーワードにしており、付加価値のついた産業を誘致したいと考えている。新たな産業を呼び起こすということは、関西という同じパイの中で取り合うのではなくて、他の都市から、あるいは海外からの産業を誘致したいと考えている。